

「東お多福山ススキ草原復元」活動報告

早春の全面刈り作業 1

2018年3月24日(土) 9:00~14:30

実施項目 : 全面刈り

参加者 : 斧田一陽、田島聖子、保田健一 (3名)

いつもの通り9時に東お多福山登山口バス停に集合

土樋割峠で各々作業道具を受け取った後、(山岳会は毎回持参)10時前に頂上着、桑田氏の挨拶と指示の下、各グループに分かれて作業を開始、山岳会3名は頂上から少し下がった芦屋市域の特別保護地区にある眺望点の区域の刈り取り作業と刈り取ったササの廃棄作業をする。眺望点でもある為、廃棄したササが一般登山者の目に触れない場所に、以前刈り取ったササも併せて廃棄する。

なかなかの重労働で午後からは他のグループも応援にかけつける。お陰で作業は順調に進み、2時に終了する頃には眺望点の様相は益々広くきれいに様変わり、ついで乍ら今迄頂上からの眺望を遮っていた植林の一部が伐採され展望が少し開けた事と、引き続き残りも伐採されるかどうかの説明が神戸自然保護官事務所の方からありました。そして参加者の新人保田氏が大活躍でたのもしく、引き続き参加して頂けます事を切に思いました。

早春の全面刈り作業 2

報告: 森脇肇子

2018年4月7日(土) 9:00~14:30

実施項目 : 1) 全面刈り

斧田一陽、田島聖子、森脇肇子 (3名)

作業内容 :



参加者約60名が3班に分かれ、JACのメンバーはNo.5周辺での作業を行った。大半の人が手刈りをしながら、刈り払い機2台での刈り取り後の残骸集積作業を行った。今回も前回と同様、全面刈りなので、決められた範囲内はネザサ以外の全ての植物も刈り取られた。



集合場所の芦屋川駅では土曜日にも関わらず、いつもの週末より人の多さはまばら。周辺では桜祭りとのことである。ソメイヨシノはほとんどが葉桜で、未明からの強風が吹き荒れている。それでも現場に向かう車窓からの山々は淡いピンクが点在していて愛らしい少女のよう。嬉しい気持ちになってくる。現場の気温はおよそ8℃ほどであろうか。とにかく風は強いし寒い。しかし、小職にとっては今年最初の作業。やり始めて覚悟が決まったら、手が止まらなくなり、いつものように熱中してしまった。ただ吹上げの冷たい北風の中での作業は、いくらやっても汗が出てこない。寒いのだ。それでも、昼食時にはシジュウガラの声が。年中いる鳥だが、4月5月は鳴き声を聞けるのだとか。そうそう、作業中にはキジもよく鳴いていた。可愛らしいスマレの話など、和やかな話題の折、霰まじりの雨が降り始めた。一気にムードが変わる。そのまま降り続けていたが、真面目なメンバー達は作業を再開した。小職は少しあつけに取られながら、続きの手刈りである。午後からは降ったり止んだりの冷たい小雨の中での作業だった。後半はし辛い中ではあったが、今回も無事に完了した。